

2025年1月22日(水)  
12:30-14:10

公開ワークショップ/  
地域経営研究会地域CN部会第5回

# 気候適応への トランジション

宇大コラボの

那須塩原市WSの  
経験をもとに

要事前申込  
(55名まで)



場所：宇都宮大学  
峰キャンパス正門横  
UUプラザ2階



事前申込URL：<https://forms.gle/IQGov8YEtgTvDDxz5>

主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターUU3Sプロジェクト（高橋若菜研究室）

宇都宮大学社会共創促進センター地域経営研究会地域CN部会、国際学部専門科目「環境と国際協力」公開授業

協力：那須塩原市環境戦略部カーボンニュートラル課、NPO法人うつのみや環境行動フォーラム、下野新聞社

備考：UU3Sプロジェクトは、宇都宮大学学長戦略経費による助成を受けています。

## 開催の趣旨

近年、夏の暑熱や洪水の頻発といった異常気象が、私たちの日常生活に深刻な影響を与えています。今後温暖化のますますの進行が避けられない情勢において、地域社会全体が連携し、未来に向けた持続可能な適応・緩和策を講じることは喫緊の課題です。

2024年11月、那須塩原市では、気候適応をテーマに高校生／一般向けWSを実施しました。宇都宮大学（高橋教授・環境政治学を学ぶ大学生）も協力した一連のWSでは、適応に向けた課題や可能性も浮き彫りになり、理解や意識の向上にもつながるなど、成果があがりました。

本ワークショップでは、企画に携わられた那須塩原市の職員の方に話題提供いただくとともに、教授が気候適応の事例を紹介し、参加学生たちも報告します。その上で、大学生のファシリテーターのもと、自治体職員、NPO・市民社会等、多様な方々の対話を繰り広げ、栃木の各市町にて、いかにして地域課題を解決しながらイノベティブな適応策を進めるかを模索します。

## プログラム

### 開催趣旨

高橋 若菜

宇都宮大学国際学部教授  
（環境政治学）地域経営  
研究会地域CN部会主査  
中央環境審議会循環型社  
会委員、NPO法人うつの  
みや環境行動フォーラム  
理事長他



「気候適応WS  
を開催して」  
坂将也

那須塩原市  
環境戦略部  
カーボンニュート  
ラル課気候変動対  
策係主任



「気候適応の事例」  
高橋若菜＋ゼミ生  
「WSファシリテーターの経験  
からみえたこと」  
環境と国際協力受講生

グループ＋全体ディスカッション「気候適応をどうする？」  
栃木県内の県市町職員の方々、市民、NGO、事業者他の皆様  
ファシリテーター：宇都宮大学国際学部学生

全体司会：高橋この葉  
（下野新聞社ビジネス局）



多文化公共圏

※ 多文化公共圏とは：気候危機をはじめとする諸課題への対応には、国家や自治体、企業などによる事業の推進もさることながら、多様な立場の当事者や支援者の方々の「横社会への連携」が大切です。「多文化公共圏」とは年齢やジェンダー、宗教や言語、職業、国籍などを問わず、多様な人々が、自由闊達に議論し合意形成を行うことができる場所であり、世界中のどこにでも形成できます。



那須塩原市 渡辺美知太郎市長も飛び入り参加されました（2024/11/9, なしお博）

問合せ：〒321-8505 宇都宮市峰町350 国立大学法人宇都宮大学  
地域創生推進機構 地域経営研究会事務局（社会共創促進センター内、責任者：山田英二）  
TEL：028-649-5502 E-mail：rmw@cc.utsunomiya-u.ac.jp